


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



3月のアルミ概況及び4月の見通し (4)

■見通し

2月の自動車生産が+18.7%。3月国内販売台数が前年比+8.8%。販売、生産共に増加。トランプ関税による自動車販売減への影響に警戒感。

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比-7.5%の13万1,962 t。マイナスに反転。

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比-2%の5万7,244 t。マイナスに反転。出荷は-2.5%の5万6,915 t。7か月連続マイナス。

■スクラップ景況予想

流通（一次問屋）在庫は、LME 価格が2,598から2,655ドル台と上昇局面だったが、円高で相殺される形で価格は下落。

メーカー在庫は、自動車生産の減少やトランプ関税による先行き不透明感から積極的には買いたくはないものの材料難から購入姿勢。

■LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される。

●米とトランプ大統領の関税政策

4月2日に貿易相手国の関税率や非関税障壁を踏

まえ自国の関税を引き上げる「相互関税」として、日本には24%の関税を課すと明らかにした。

また、個別の関税率を示していない総ての国や地域を対象に一律で10%の関税を課すことも併せて発表。世界経済への大きな影響が懸念される。

混乱は次回5月のFOMCまで続くのでは？

●ロシアウクライナ情勢

停戦条件で両者に隔たりがあり、欧州が納得してないのは確実。とはいえ、他に停戦するすべはない。今月中に解決はないのではないかと？

これらを踏まえた今月のアルミ価格は、2,200ドル~2,500ドル（セツル）と予想。

ドル円値は140円~150円台（TTM）を予測。

スクラップ購買価格に関しては、-10~30円程度と予想している。

（「3月のアルミ概況及び4月の見通し」おわり）

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OGIIZAKI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<https://ogico.jp>

〰 LME公式値週間推移

4月7日~4月11日(現地)

